

北医療薬会報

発行所 北海道石狩郡当別町金沢1757番地
北海道医療大学薬学部同窓会

☎(0133)23-0301 直通・FAX
☎(0133)23-1211 大学代表
発行人 田中稔泰

印刷所 (株)コルパス

札幌市中央区南1条東3-10-1
☎(011)252-6071



あいの里キャンパス



学友会館



当別キャンパス



20周年記念会館

目 次

新任教授挨拶	遠藤 泰	3
支部長会議及び茨城、栃木、神奈川合同同窓会報告.....		6
日本薬剤師会学術大会、同窓会懇親会.....		7
第27回 北海道医療大学薬学部同窓会総会.....		8
編集後記.....		10

新任教授挨拶

北海道医療大学 个体差医療科学センター 教授
薬学部病院薬学講座 教授
遠藤 泰



平成18年4月1日より北海道医療大学 个体差医療科学センター教授ならびに薬学部病院薬学講座教授に就任いたしました。平成18年度の父母後援会の懇談会でお世話になりました青森支部と旭川支部、さらには茨城、栃木、神奈川支部合同同窓会が開催された際には、多くの同窓生にお祝いの言葉をいただきました。本学薬学部卒業生での第1号の教授ということで身に余る祝福をしていただき誠に有難うございました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、平成18年度より薬学部も6年制になり1年が経ちました。すでにご存知の同窓生の皆様もいられると思いますが、本学薬学部も従来の講座を大講座制にするなどの組織改革が行われ、さらに実務薬学教育研究講座と病院薬学講座を新設いたしました。私の主宰する病院薬学講座は薬学部のある石狩当別ではなく心理科学

部と平成17年7月より開院した北海道医療大学病院（旧 北海道医療大学 医科歯科クリニック）のある札幌市北区あいの里にあります。この同窓会報の紙面をお借りして、大学病院と薬剤部について紹介した北海道病院薬剤師会誌に掲載した文章を載せさせていただきました。北海道病院薬剤師会へ入会されている先生方はすでにご覧になっていると思いますが、どうぞご了承ください。

最後になりましたが、微力ながら同窓会ならびに大学の発展のために努力してまいりたいと思いますので、同窓生の皆様には今後とも一層のご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以下北海道病院薬剤師会誌No. 69, p99, 2005より抜粋。

北海道医療大学病院 薬剤部長

遠藤 泰

北海道医療大学は薬学部、歯学部、看護福祉学部、歯科衛生士専門学校、歯科内科クリニックのある「当別キャンパス」と当院をはじめ心理科学部のある「あいの里キャンパス」に分かれる。当院は札幌市北区のニュータウン「あいの里」にあり、JR「札幌駅」からは学園都市線でおおよそ30分「あいの里教育大駅」の駅前に位置している。当院に併設されている个体差医療科学センター、別に心理科学部棟が立ち並ぶ。地域住民の医療に貢献するための医療施設としてばかりではなく、大学の臨床教育、研究機関のひとつとしても機能している。

【理念】

本学の教育理念に則り、生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保険と医療と福祉の連携・統合を目指し、先進的な医療の提供と医学・歯学の発展に寄与し、高度で安全な地域医療を実践することによって地域社会に貢献することを本院の理念とする。

【沿革】

平成2年10月 東日本学園大学 医科歯科クリニック開院（診療科目：内科・小児科・整形外科・歯科・小児歯科・矯正歯科）

平成3年2月 耳鼻咽喉科開設

平成3年4月 病棟開設（19床）

平成3年5月 人間ドック部門開設

卒直後研修歯科医の受入れ開始
 歯学部附属歯科衛生士専門学校
 実習生の受入れ開始
 平成3年7月 薬学部4年生の薬局実習受入れ
 開始
 平成3年8月 言語聴覚室開設
 平成4年2月 皮膚科開設
 平成4年10月 消化器科・眼科開設
 平成6年4月 校名を「北海道医療大学」に変更
 平成7年2月 歯学部5年生臨床実習受入れ開始
 平成8年4月 大学院薬学研究科医療薬学専攻
 薬学臨地実習受入れ開始
 心療内科・歯科口腔外科開設
 平成9年12月 日本糖尿病学会認定教育施設と
 して認定
 平成10年4月 日本補綴歯科学会認定研修施設
 として認定
 平成10年5月 大学院看護福祉学研究科臨床福
 祉・心理学専攻臨床心理学実習
 受入れ開始
 平成11年4月 歯科技工研修科研修技工士受入
 れ開始
 平成14年7月 労災保健指定医療機関として認定
 平成14年10月 日本歯周病学会認定研修施設と
 して認定
 平成15年11月 高次機能外来開設
 平成17年7月 北海道医療大学病院として開院
 病床数24床

【病院概要】

所在地：札幌市北区あいの里2条5丁目

TEL：011-778-7575

FAX：011-770-5034

建築面積：2,949.02㎡

延床面積：9,924.76㎡

薬局面積：264.9㎡（延床面積の2.7%）

構造：RC造一部S造地上4階地下1階

病床数：24床

診療科目：内科・心療内科・呼吸器科・消化器
 科・小児科・整形外科・耳鼻咽喉
 科・皮膚科・眼科・歯科・小児歯科・
 矯正歯科・歯科口腔外科

医師数：10名

歯科医師数：51名（非常勤含む）

薬剤師数：4名

患者数：外来 395人（医科340人・歯科155人）
 ／日（平成17年7月～9月の概算）

入院11人（医科6人・歯科5人）／日
 （平成7月～9月の概算）

処方せん枚数：外来197枚／日、入院5枚／日（平成
 17年7月～9月の概算）

（院外処方せん発行率 0.8%）

認定施設：日本心身医学会研修診療施設（心療
 内科）

日本補綴歯科学会認定研修施設

日本歯周病学会認定研修施設

併設施設：個体差医療科学センター

【薬剤部概要】

薬剤部は新棟1階に位置し、調剤室、薬品
 庫、注射供給室、無菌室、製剤室、医薬品情報
 室、医薬品管理室、薬剤部長室を有している。
 共用スペースではあるが、相談室も外来患者の
 服薬指導に使用している。薬剤師数4名。平成
 12年に注射をのぞく内用外用薬についてのオー
 ダリングシステムが導入され、全自動錠剤分包
 機と連動して運用を始め、平成13年には散薬支
 援システムと連動させた。さらに業務の効率化
 を図るため、調剤、製剤、病棟と業務を分担化
 し病棟活動を定期的なものとした。平成17年7
 月からは病院化に伴い、注射薬払い出しについ
 てもオーダーリングシステムを運用開始。

【調剤業務】

外来処方ほぼ100%院内処方せんで行われ
 ている。小児科、耳鼻咽喉科から散薬や水剤の
 計量調剤、皮膚科からは軟膏の混合調製なども
 多い。

平成13年度より「お薬手帳」の発行を開始し、
 その普及と有効利用に努めてきた。また、手帳
 を利用したリスクマネジメントも行っており、
 事例はすべて日本病院薬剤師会医薬情報委員会
 事務局のプレアボイド報告制度へ報告している。

平成17年3月からは外来患者への吸入薬導入
 時に服薬指導を行っている。

【注射薬調剤業務】

注射薬は病棟、手術室、外来処置室において

定数を配置し管理している。病棟担当薬剤師は1日2回、配置薬の定数確認を行っている。入院患者についてはオーダーリングと連動した患者ごとの注射ラベルを発行し個人セット渡しを行っている。

平成17年7月より、クリーンベンチ、安全キャビネットなどの設備を導入し、高カロリー輸液や抗悪性腫瘍剤の無菌調製については原則として薬剤部で行うことになった。しかし現在はルーチン業務にはなっておらず対象患者が入院あるいは外来受診した際に限られている。

【院内製剤業務】

薬剤部で調製している院内製剤は約20品目におよぶ。耳鼻咽喉科からの請求が最も多く、約半数を占める。処置に使用する消毒薬、歯科や皮膚科で使用する金属アレルギーのパッチ試験の各種金属の希釈溶液などの準備も行っている。

【病棟業務】

現在は主に糖尿病教育入院時の薬剤指導と顎変形症手術時の術前・術後の服薬指導を担当している。平成17年7月からの病院化へ伴い、入院患者数も増加しており、病棟担当薬剤師は患者へ配薬し服薬指導をはじめた。今後は薬剤管理指導業務への展開を計画している。

【薬剤管理】

平成13年より医薬品管理をコンピュータ化した。医薬品在庫管理システムを導入し、発注、薬品庫からの払い出し、棚卸し業務などもバーコードを利用して行っている。月1回の棚卸しは、薬品庫はもとより、病棟、処置室、手術カートなど薬品を定数として配置している場所での薬品数、使用期限などのチェックを行っている。

【医薬品情報提供業務】

DIニュースとして、包装・規格変更等、経過措置・削除薬品、添付文書改訂情報、新規採用薬品などの薬剤情報を定期的に発行している。さらにオーダーリングに関するものは別にオーダーリングニュースとして発行している。どちらも印刷物とメールへの添付ファイルとして発行している。

製薬メーカーの協力を得て、月1回、薬剤部主催の医薬品に関するセミナーを開催し、医師、歯科医師、看護師、検査技師、X線技師の参加を呼びかけている。

【学生実習受け入れ】

薬学部4年生病院薬学実習として本学より2名、北海道薬科大学より2名の受け入れをはじめ、本学大学院薬学臨地実習生1名、さらには本学歯学部5年生臨床実習生を受け入れている。



支部長会議及び茨城、栃木、神奈川合同同窓会報告

田 中 稔 泰

平成18年9月17日、隔年で開催しています支部長会議を東京で開催しました。

毎回、札幌で開催しておりましたが、栃木・茨城・神奈川の関東3支部の合同同窓会が開催されることになりましたので、各支部の活性化と新たな関東地区の支部設立を目的として、また、経費面においても札幌で開催する場合と大きく支出増にならないことから、理事会で決定し同時開催を行う運びとなりました。

会場は東京駅近くのTKP東京駅ホールにて12時より2時間、支部長会議を開催し、その後合同支部セミナー、懇親会が開催されました。

支部長会議では、全国12支部の支部長及び副支部長の方へ出席いただき、各支部の現状報告や問題点などが報告され、全体的な協議を行いました。各支部の問題点としては、なかなか同窓生が集まらない等の報告がありましたが、道北支部では若手を役員に起用し、2桁期の活動が活発であり、セミナーなどの参加率が高いという報告や、沖縄支部では会員相互のコミュニケーションを目的としてブログを開設し、色々な意見を書き込んでもらう等の報告があり、各支部の今後の活動においても参考になる意見が出されました。

全体協議としては、各地域で行われている学生実務実習への同窓会としての関与、大学付属病院の調剤薬局開設の可能性（同窓会運営として）、各支部への新卒者の情報提供、支部運営資金に対する援助、同窓生子弟入学、次回支部長会議の開催地などが協議され、今後の同窓会活動の方針となる議案が出されました。各支部への新卒者の情報提供としては、毎年住所更新が行われる際にお知らせすることを決定し、支部運営資金に対する援助に関しては、各支部で開催されるセミナー等の案内の郵送費が負担との意見もあることから、従来交付している支部援助金とは別に、1回分の郵送費を負担することが、後日の理事会で決定しました。また、リア

ルタイムに支部長の意見交換ができるようメーリングリストを開設することとしました。その他の事項に関しましては、大学との折衝に時間を要するということもあり、継続審議といたしました。

その後、同会場で茨城・栃木・神奈川の3支部による合同セミナーが開催され、本学薬学部長の黒澤隆夫先生より「6年制薬学教育と本学薬学部の取り組み」と題した講演が行われた後、黒澤教授を交えて、本学名誉教授の高田昌彦先生、同窓生であり本学教授の遠藤 泰先生の3名による「医療連携における薬剤師の役割と将来の薬剤師」と題してパネルディスカッション形式で行われ、活発な意見交流がなされました。その後、懇親会が開催されましたが、参加者は約100名でした。今回、新たな試みとして3支部の合同同窓会が開催されましたが、3支部のみならず関東地区に居住されている卒業生にご案内していただき、開催されました。これは関東3支部の強化と千葉、埼玉、東京の支部設立の引き金となることを目的とした会でもあり、この会の開催にご尽力を頂いた茨城支部長西野先生、栃木支部長川北先生、神奈川支部長川田先生、発起人として埼玉の池田和久先生、千葉の中村佳弘先生、事務局の山口秀樹先生に感謝申し上げます。



日本薬剤師会学術大会 同窓会懇親会

田 中 稔 泰

第39回日本薬剤師会学術大会が福井で開催され、それに併せて北越支部セミナー及び同窓会懇親会が開催されましたので、ご報告します。

昨年の広島大会で、同窓会としては初めての懇親会を開催し、盛況のうちに終わることができましたので、福井でも大会に併せた懇親会を行うことになりました。開催にあたり地元の北越支部にお世話になることになり、杉本雅規支部長のご配慮により、山代温泉の名湯旅館、「湯の国天祥」で北越支部セミナーと同時に開催されました。この場所は、福井市での大会開催の関係上、市内のホテルに宿泊できる方が少なく、宿泊者も遠く金沢までの広範囲になっていることから、少し市内から離れておりますが、ゆっくりと懇親を深めることが可能な場所として、選ばれました。

セミナーでは本学教授の豊田栄子先生より「水の科学」と題して水の物理化学的性質を中心とした講演が行われました。参加者は北越支部会員をはじめ、懇親会に参加された方々約30名で、普段は医療や薬に関する講演を主に聴いている関係上、久々の物理化学の話で懐かしい大学の講義を聴く感じでした。

続く懇親会では、豊田先生にも参加していただき、温泉旅館ならではの風呂上がり浴衣姿での宴会となりました。参加者は少なめではありましたが、それぞれ膝を交えての近況報告や昔話などに花を咲かせて懇親することができまし

た。また余興では杉本支部長、本間信哉先生らが自ら仮装してのゲームを行っていただき、景品が当たるなど、細やかな、もてなしに笑いの絶えない会となりました。また、全員宿泊ですので、部屋に戻っても、また集まり、先ほどの続きの話など深夜に及ぶ懇親となり、大変楽しい会でありました。

来年の薬学大会は神戸で開催されます。今回のような温泉旅館とはいきませんが、大会に併せて懇親会を開催する予定です。どうか皆さんお集まりくださいますようお願い申し上げます。



第27回 北海道医療大学薬学部同窓会総会

平成18年6月10日(土)北海道医療大学サテライトキャンパスに於いて第27回総会が開催されました。以下にその内容をご報告致します。会員の皆様には一層のご理解をいただき、同窓会活動にご協力いただきたくお願い申し上げます。

平成17年度事業報告

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

主な事業内容について

1. 第26回北医療薬総会の開催 (5月28日)
於、サテライトキャンパス
2. 講演会の開催
 - 1) 医療薬学セミナー (各支部と協力)
5月28日 札幌 (札幌支部)
6月18日 水戸 (茨城支部)
7月9日 滝川 (道北支部)
7月30日 青森 (青森支部)
10月8日 宇都宮 (栃木支部)
11月5日 釧路 (釧路支部)
11月12日 那覇 (沖縄支部)
11月19日 横浜 (神奈川支部)
 - 2) 第17回医療薬学公開講座
於、サテライトキャンパス
札幌 7月30日
 - 3) 第4回薬剤師リフレッシュスクールへの後援
於、サテライトキャンパス
6月11日、25日、7月9日、16日
3. 理事会の開催(第1回: 4月16日、2月18日)
審議内容
 - 1) 総会開催準備
 - 2) 各事業の準備と運営
 - 3) その他
4. 役員会・各運営部会の開催
HP委員会開催 (8月20日) 薬事会館
5. 法人との打合せ会議 (11月16日)
6. 第38回日本薬剤師会学術大会における懇親会
(10月9日) 広島
7. 本学他同窓会との懇談会 (12月13日)
札幌ガーデンパレス
8. 会報の発行 第20号 (3月)
9. 薬学部卒業祝賀会参加 (3月17日)
10. 卒業生への入会案内
本学同窓生教職員と打ち合わせ (1月) 大学
入会案内発送 (2月)
11. 同窓会名簿発行 (3月発送)

平成18年度事業計画

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

主な事業計画

1. 第27回北医療薬総会の開催（6月10日）
於、サテライトキャンパス
2. 講演会の開催
 - 1) 医療薬学セミナー（各支部と協力）
札幌支部 札幌（6月10日）
サテライトキャンパス
（本学 唯野 貢司 先生）
栃木支部、茨城支部、神奈川県支部
3支部合同（9月17日）
以下の支部は後期(10月)以降の開催を予定
道北支部 十勝支部
道南支部 釧根支部
オホーツク支部 青森支部
北越支部 沖縄支部
東海関西支部
 - 2) 第18回医療薬学公開講座
於、サテライトキャンパス
札幌 10月15日
 - 3) 第5回薬剤師リフレッシュスクールへの後援
於、サテライトキャンパス
6月3日、24日、7月15日、22日
3. 第39回日本薬剤師会学術大会での懇親会開催
（10月8日）福井
4. 支部長会議開催（9月17日）
5. 理事会の開催（第1回：4月15日、第2回：6月10日、随時開催）
審議内容
 - 1) 総会開催準備
 - 2) 支部長会議開催準備
 - 3) その他
6. 役員会・各運営部会の開催（随時開催）
7. 会報の発行
8. 本学他同窓会との懇談会
9. 卒業生への入会案内説明会
入会案内発送（2月下旬）

第28回 北医療薬 総会および懇親会のご案内

第28回 北医療薬 総会および懇親会を下記のとおり開催いたします。詳細はホームページ、会員個人あてに郵送でご案内いたします。

なお、医療薬学セミナーは別日程で開催されます。また、5月26日、27日は北海道薬学大会が開催されます。学会終了後、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

記

日 時：平成19年5月26日（土）
・総 会：18時30分より
・懇親会：19時（総会終了後）より

会 場：ウェルシティ札幌 厚生年金会館
札幌市中央区北1条西12丁目
TEL (011)231-9551

会 費：3,000円（当日申し受けます）

* 出欠席の案内ハガキは、4月中旬に発送予定です。
以 上

本学のサテライトキャンパスが移設しました。

札幌サテライトキャンパス

〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階(道庁東側)

TEL : 011-223-0205 / FAX : 011-223-0207

開館時間 : 月～土 9:00～21:00 (祝祭日は休み)

札幌サテライトキャンパスは北海道医療大学教職員、同窓会会員、後援会会員の講演会、研修会、会議、打合せ等の会場として使用できます。是非、御利用下さい。

札幌サテライトキャンパスに関するお問い合わせ

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL(0133)23-1129

教育研究振興課 : nice@hoku-iryo-u. ac. jp



学内に待望のコンビニオープン

06年12月15日に学内にセイコーマートがオープンしました。

20周年記念会館の1F (JR大学駅から正面玄関へ向かう途中)、通常、8時から20時まで営業しており、弁当、日用雑貨など品数も豊富です。また、公共料金の収納、宅配便取次なども可能で学生、教職員に大変、好評です。



次回会報予定

薬学教育が6年制を迎え、2年目となる。6年制にそなえ本学薬学は昨年より大講座制となりました。6年制および大講座制にともない、新講義棟の建設やカリキュラムの変化など、ハード、ソフトもかなり変わりました。また、あらたな教職員も加わりました。次回の会報ではハード面、ソフト面と変わり行く薬学部を紹介できればと考えています。

編集後記

今年は全国的に暖冬で、北海道も例年とは比べ物にならない程、雪が少ない。除雪をしなくてすみ、当別までの車の通勤もいつもの冬ほどストレスが少なく、助かっている。しかし、雪が少ないぶん、いつもの真冬の感覚がとぼしい。気がつけば、雪まつりはとっくにおわり、早くも年度末である。なにかと慌ただしく、時間だけが過ぎていく。雪とは違うストレスが……

S. K.